

会議概要記録

件名	令和4年度 第1回鹿児島市健康増進計画推進検討委員会	作成課	保健部 保健政策課
日時	令和4年7月13日（水）14時00分～15時05分		
場所	東部保健センター講堂		
出席者	委員 20名（欠席6名） 健康づくりの普及に関係する団体の代表者13名（代理出席含む）、公募委員4名、行政の代表者3名		
市出席者	事務局：4名 保健政策課長、健康づくり係長、係員		
会次第	<p>1 開会 ・委員の紹介、委員長の選出</p> <p>2 報告・協議 （1）かごしま市民すこやかプラン令和3年度実施状況及び令和4年度実施計画について ① 鹿児島市の取組 ② 鹿児島市健康づくり市民会議団体の取組 （2）働く世代の健康づくり事業の取組について （3）かごしま市民すこやかプラン最終評価・次期鹿児島市健康増進計画について ① かごしま市民すこやかプランについての市民意識アンケート調査について（案） ② 令和4年度、5年度 健康増進計画事業 年間スケジュール</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>		
主な決定事項	<p>○委員の紹介、委員長の選出【了承】</p> <p>○かごしま市民すこやかプラン令和3年度実施状況及び令和4年度実施計画について【了承】</p> <p>○働く世代の健康づくり事業の取組について【了承】</p> <p>○かごしま市民すこやかプラン最終評価・次期鹿児島市健康増進計画について【了承】</p>		
○主な意見 →事務局等	<p>3 報告・協議 （2）働く世代の健康づくり事業の取組について</p> <p>・（委員）鹿児島市の働く世代（15歳～65歳未満）の人口構成率はどれくらいか。 ⇒【事務局】高齢者人口30%を超えている。年少人口15%程度、生産人口は55%程度になる。</p> <p>・（委員）ここでいう働く世代の年齢は何歳程度のことであるのか。 ⇒【事務局】現在の労働基準局の統計は、60歳までで統計をとっている。今後はこの働く世代の概念も社会の変化に伴い変わってくると思われる。資料にあるとおり、高齢の世代が増えているということが分かったという現状である。</p> <p>（委員よりご意見）</p> <p>・10年の人口構成の変化もあり、できれば80歳代になっても働ける社会となればいい。 ・人生100年時代と言われ、各団体の年齢構成も高くなってきている。より健康づくりが重要となってくる。</p> <p>（3）かごしま市民すこやかプラン最終評価・次期健康増進計画について</p> <p>・（委員）調査対象者はどうやって選定するのか。 ⇒【事務局】調査対象者については、4,000人を見込んでおり、質問項目が小学生・中学生・一般と別れており、年齢構成に合わせて、住民基本台帳から無作為抽出することになっている。</p> <p>・（委員）小中学生の回答率が高いと思われるが、一般は低いと思われる。そこを加味したうえでアンケートを実施してほしい。 ⇒【事務局】回答率を勘案して準備を進めている。</p>		

(委員よりご意見)

・県でも話題になったが、「食育」はすべてにわたる。学校教育の中だけでなく、一般の方が一番学ばなければならない。もっと前面に押し出してほしいというのと地産地消についても文言として明記してほしい。鹿児島県でさえ食糧自給率は100%ではない。健康にかかわること、医者として大事だと思っている。

・(委員) 特定健診の中に希望者だけでも歯科健診も入れてほしい。視診だけでもまずはよいのでは。

⇒【事務局】 歯科医師会の広報が足りないのか、ハッピー健診の受診率も低いのが現状である。

(委員よりご意見)

・こういう健康増進計画の中には「QOLの向上」というのが記載されているが、QOLについて突き詰めて考えることなくして、なんとなく健康であることがよいとなっている。人生100年時代。本当に充実した人生を送ってほしい、鹿児島に生まれてよかった、鹿児島に住んでうれしいと思える、生きがいなどの目的をもった、そのための健康づくり、健康増進計画となってほしい。これから高齢社会は進んでいくと思いますけど、人生を豊かにするというところが1つのテーマなのかなと思っています。